

郵便と通信

郵便制度の誕生

～上宿にあった郵便局～

郵便は、明治4年に時の政府により東京と大阪の間で伝達されたのが始まりです。秦野市では、明治14年に三武左司右衛門（みたけさじえもん）により始められ、明治15年に内国為替、明治25年に外国為替、明治29年に小包郵便、そして、明治45年には電話交換通話が開始されました。

明治の中頃は、郵便の利用は年間1人あたり4通に満たず、また、電話の敷設数は当時の中郡（旧上秦野村を除く全域など）全てを含めても95件に過ぎませんでした。



上宿にあった郵便局